

似島のミモザ・比治山のサクラ…



地元の比治山や黄金山のサクラをモチーフに作られたスイーツを販売する信友さん

南区花スイーツ 5店で限定販売

進徳女子高生が提案

広島市南区内の花の名所にちなんだ考案された当地スイーツが、同区内の菓子店5店で販売されている。進徳女子高（同区）の食育アサイン科の生徒がレシビを提案。各店が商品化し、18日まで期間限定で扱う。来春の本格販売を目指して名称も募集する。

区段原山崎のパティスリー
アニバーサリーのオーナー
シェフ信友慎也さん(48)は
「見た目も華やかに仕上げ
た。比治山など地元のサク
ラの名所に花見に行くきつ

かけになってほしい」と話している。

花見シーズンに合わせて来春から本格販売を予定し、名称も募集している。各店にある応募用紙で応募する。委員会が審査し、採用者には応募店で使える3千円の商品券を贈る。問い合わせは南区役所地域起こし推進課☎082(25)086315。(猪股修平)

似島のミモザ、比治山と黄金山のサクラ、元宇品のヒロシマツバキがモチーフ。ミモザの花言葉「秘密の恋」にちなみ、イチゴを包み込んだスポンジケーキ、塩漬けたサクラの花を使ったピンクのマカロンなど7種類ある。

スイーツの開発は、南区と同校、地域の菓子店をつくる委員会が2012年から取り組んでいる。サクラがテーマの3種類を扱う同